

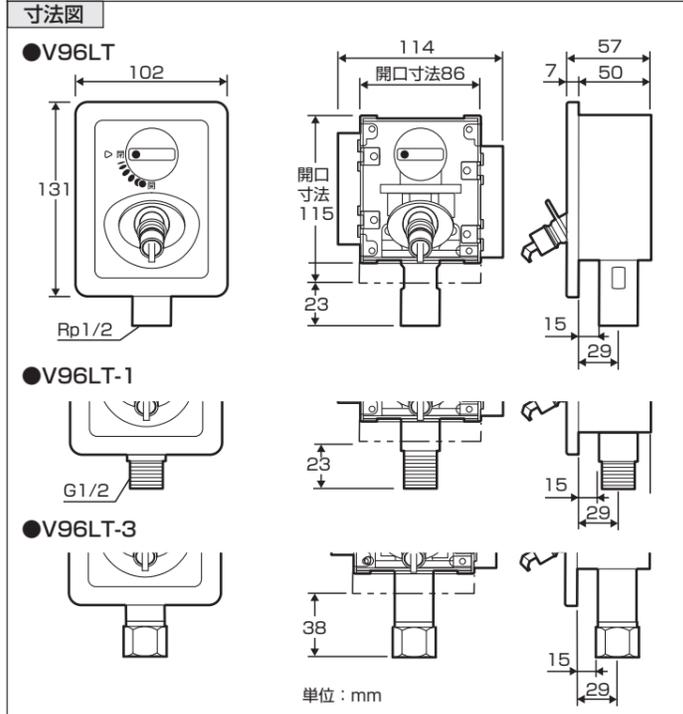
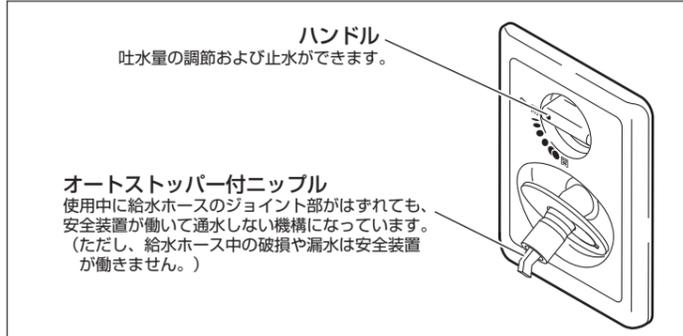
水道用コンセント シンプルット V96LT・V96LT-1・V96LT-3
(寒冷地用・V96LTK・V96LTK-1・V96LTK-3)

施工説明書

- 施工の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取り付け年月日をご記入の上、この説明書をお客様へお渡しく下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

株式会社 三栄水栓製作所
本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪☎(06)6976-8661 東京☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721

各部の名称・寸法図



安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

⊘ 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

❗ 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

〈施工上の注意事項〉

⚠ 注意

電気のコンセントの近くに取付けしないでください。水道用コンセントからの水による、漏電のおそれがあります。

(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を使用してください。(参照：取扱説明書・・・寒冷地用の水抜方法)

梱包明細

部品構成

本書(施工説明書)×1
取扱説明書×1
型紙×1

本体×1

化粧プレート×1

下枠×1

木ねじ×2

なべ小ねじ(M4×25)×4

ツバ×1

キャップ×1

適切な使用条件

●給水圧力 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ~ 0.74MPa {7.5 kgf/cm²}

施工上のご注意

- 配管内の掃除 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 新築時に取付け用の水道用コンセントです。取付けには木枠組が必要な場合があります。
- 取付け時に柱と平行になるよう注意して取付けてください。

洗濯機給水ホースの適合について

① 自動洗濯機でご使用の場合
日本電機工業会規格(JEM1206)に適合するホース接手をご使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。

自動洗濯機給水ホース
SAN-EI品番：PT17-1-0.5 (長さ0.5M)
PT17-1-1 (長さ1M)
PT17-1-1.5 (長さ1.5M)
PT17-1-2 (長さ2M)
PT17-1-3 (長さ3M)
PT17-1-5 (長さ5M)

② 2槽式でホース接手のない場合
PT17-4Fをご使用ください。
ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。

ホースナット付ジョイント
SAN-EI品番：PT17-4F

お使いの給水ホース
適合ホース：
内径φ12~15mm
外径φ18~20mm

⚠ 注意
自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具の取付け

- 水道工事と壁面取付工事は相互の工程を十分打合わせしてから行ってください。
- 施工・作動点検のため、ホース接手を用意してください。

壁を張る前に取付ける場合
(ポリブテン配管、架橋ポリエチレン配管、塩ビ管、鉄管)

1 取付位置

⚠ 注意

- 壁表面からの配管位置は28~35mmの範囲で壁面に平行に取付けてください。(28mmが適切です。)範囲外では施工できません。

(注) 28mmと35mmでは取付時の状態が違いますが施工上、問題ありません。

28mmの場合 35mmの場合

水道用コンセント

ポリブテン継手など

ポリブテン管など

さや管など

2 間柱と固定枠の固定

固定枠の側面か上面のビス穴に木ねじを通し、間柱に固定枠を固定する。
(注) 側面、上面固定を組み合わせるとより強固に固定できます。

●側面固定の場合
間柱に取付ける方ははさみプレート、なべ小ねじをはします。

はさみプレート

ビス穴

木ねじ

(注) はずしたはさみプレート、なべ小ねじは必要ありません。

●上面固定の場合

当木

ビス穴

ライン

壁(ボード)

⚠ 注意
対応壁(ボード)厚は8~15mmです。9.5mm、12.5mm壁(ボード)厚の場合は壁(ボード)がラインに合うように固定枠の位置を調整してください。

3 配管の取付け

配管を取付穴に固定する。配管は保守点検が容易な場所に取付けてください。

(1) 水道用コンセントと、継手の接続 (2) ポリブテン継手と、ポリブテン管の接続

メネジ仕様の場合

シールテープなどでネジ込み接続する。

ポリブテン継手など

ポリブテン管など

架橋ポリエチレン管仕様の場合
継手本体を架橋ポリエチレン管に固定してください。

① 部品を順番に ② 管が継手本体の差込確認穴から見えるまで確実に奥まで差し込む。 ③ 割リングを継手本体につき当たるまで押しつける。 ④ 袋ナットを割リング先端が約1mm見えるまで締付ける。締付後、袋ナットのゆるみ確認のため、マークをしておく。

継手本体

割リング(方向性はありませぬ)

袋ナット

架橋ポリエチレン管

差込確認穴

マーク

約1mm

(注) ●メンテナンスが容易な場所に取付けてください。
●いったん使用した割リングは再使用しないでください。
●作業中は手袋などで手の保護をしてください。
●傷や折れ曲がった管は使用しないでください。

4 通水点検

止水栓を開いて通水し、各接合部の水もれ点検をする。

5 壁(ボード)取付け

(1) 固定枠の取付寸法の確認をした後、壁(ボード)に型紙を使用して墨出しを行い、穴を開ける。

●水抜プラグ付の場合

固定枠

壁(ボード)

壁(ボード)

(注) 型紙を固定枠ねじ取付位置に合わせてから穴を開けてください。

(2) 固定枠高さ範囲内に壁(ボード)の当たり面がある事を確認した後、壁を取付ける。

(注) 固定枠の寸法範囲でクロスなどをカットしているか確認してください。

(3) 壁(ボード)取付け後、固定枠が壁面に対して水平でない場合や作動が悪い場合は、位置を調節してください。

壁(ボード)

木ねじ

木ねじをゆるめて位置を調節する。

6 下枠の取付け

(1) なべ小ねじ4本を下枠に取付ける。

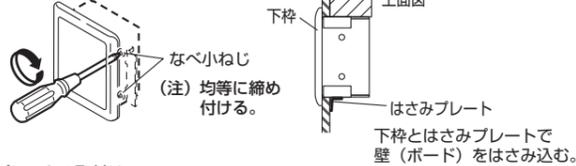
なべ小ねじ(M4×25)

上面図

下枠

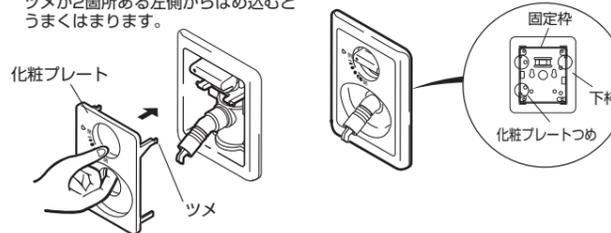
⚠ 注意
4本とも均等に締め付ける。

(2) 間柱に取付けない方はさみプレートのなべ小ねじを締めて壁（ボード）に固定する。

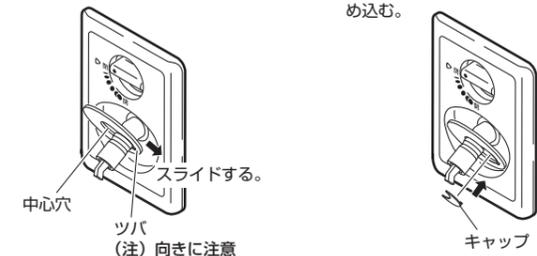


7 化粧プレートの取付け

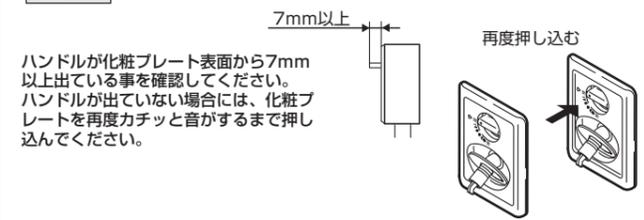
- (1) 化粧プレートを固定枠にはめ込む。
※化粧プレートをはめ込む時のコツ
化粧プレートのツメは3箇所あります。
ツメが2箇所ある左側からはめ込むと
うまくはまらず。
- (2) 化粧プレートのツメと固定枠の溝が
合うように、カチッと音がするまで
はめ込む。



- (3) ニップルにツバを取付ける。
①ツバの穴をニップルの溝に合わせて、
ツバの中心穴にはめ込む。
- ②キャップのツメをツバの穴に合
わせ、カチッと音がするまでは
め込む。



注意



8 施工・作動点検

取付完了後ホース接手を差し込み、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の水もれ点検をする。点検で不具合が発生した場合は次の表に従って処置する。

- ①施工確認
●化粧プレートが確実にハマっている事。
- ②ホースの着脱確認
●ホースが確実に着脱できる事。
●ホース接手を引張っても抜けない事。



注意

ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので注意してください。

点検不具合	処置	原因	処置
① 施工確認 化粧プレートがきれいにハマらない。	a b c	a 下枠と固定枠を止めるなべ小ねじ部分に隙間がある状態の時に化粧プレートを奥まではめ込んでいない。 b 下枠と固定枠を止めるなべ小ねじ4本を均等に締め付けていないため、下枠、化粧プレートが歪んで取付けられている。 c 配管を壁面に対して平行に施工していないため、固定枠が歪んで取付けられている。	ハンドルが化粧プレート表面から7mm以上出ている事を確認してください。「器具の取付け・7 化粧プレートの取付け」参照
② ホースの着脱確認 ホース接手がはまらない。	d e	d 通水状態である。本体内部に圧力がかかっている。 e ホース接手が適合しない。	「分解と点検」参照

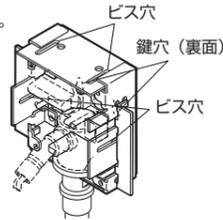
その他の施工例

固定枠には計4箇所のビス穴、2箇所の鍵穴があります。施工条件に応じて、間柱などに取付けてください。

注意

鍵穴（裏面）のみの固定は、取付位置の調整がやりにくいため確実に固定できない場合があります。他の取付方法で補強してください。

- 壁（ボード）、下枠、化粧プレートの取付けなど「壁を張る前に取付ける場合」の手順を参照してください。

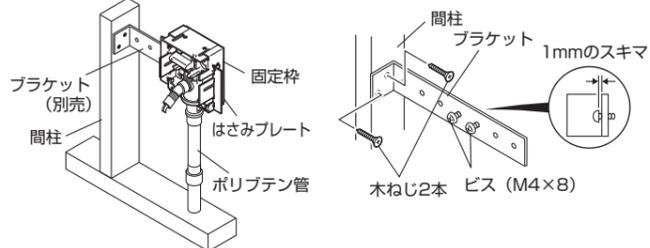


A ブラケット（別売）を使用した施工例

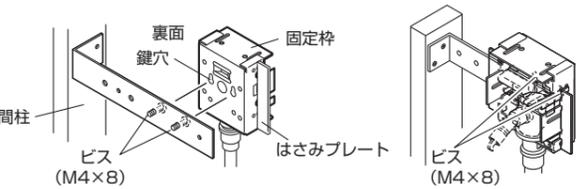
注意

ブラケットは補助的なものであり、ブラケットのみでの固定はできません。他の取付方法で補強してください。

- (1) 間柱にブラケットを木ねじで水平に固定する。
- (2) 固定枠取付位置でビスが固定枠裏面の鍵穴にはまるよう仮固定する。

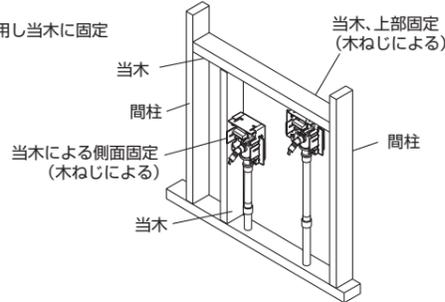


- (3) 固定枠裏面の鍵穴にビス頭をはめ込み、固定枠正面からビスを本固定する。



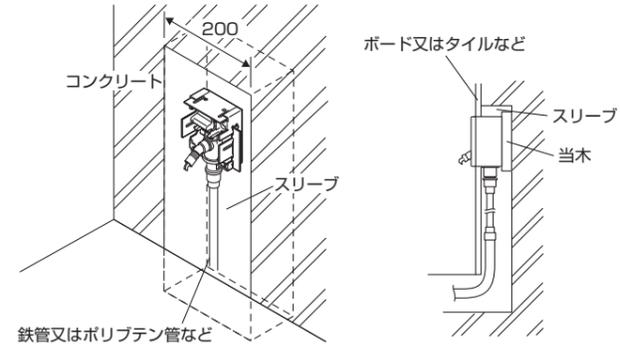
B 当木による施工例

固定枠のビス穴を使用し当木に固定する。



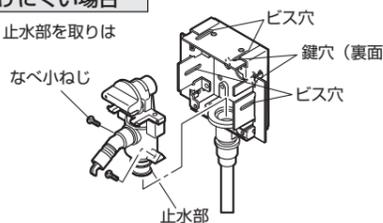
C モルタル壁の施工例

- (1) コンクリートを打ち込む前に型枠の内側に木又は、発泡スチロールにて、スリーブをつくる。
- (2) スリーブの底面又は、側面に当木をコンクリート、釘などで固定し、水道用コンセントを当木に固定する。



固定枠が間柱などに取付けにくい場合

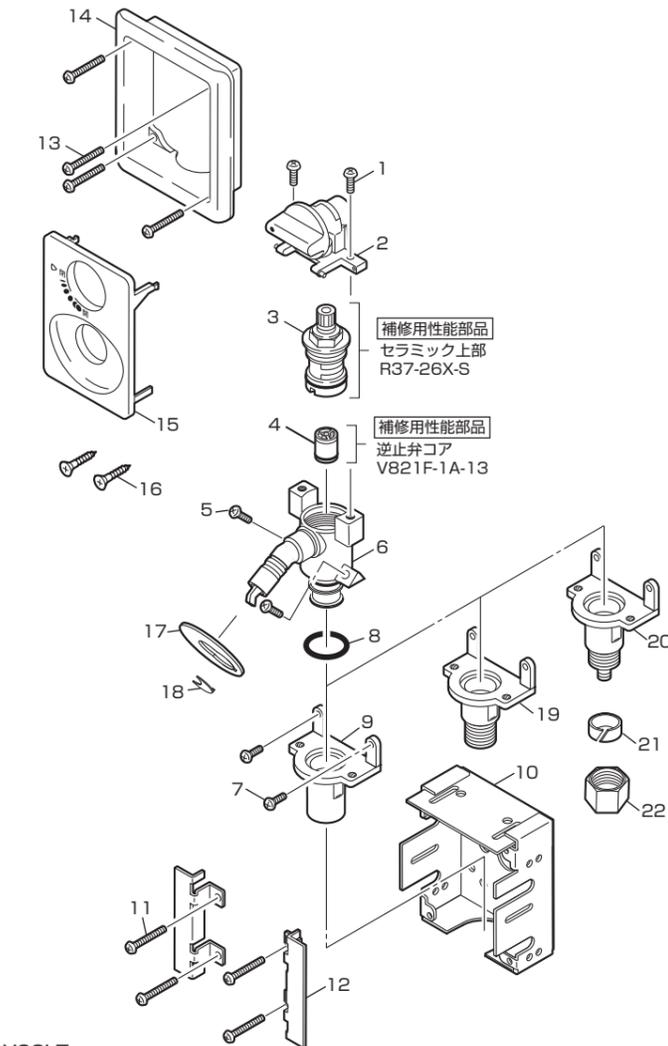
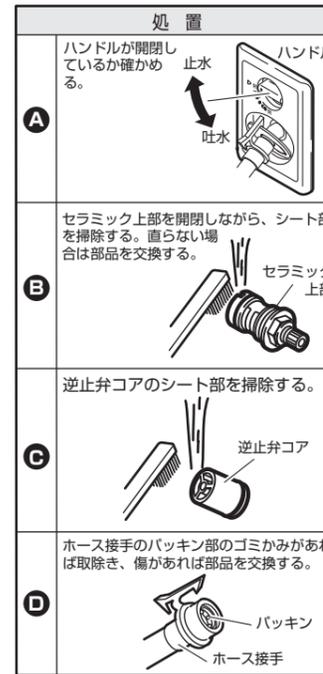
間柱などに取付けにくい場合は、止水部を取りはずして施工してください。



分解と点検

取付後の故障や、保守点検の際は下の表に従って点検してください。

原因	処置
水が出ない	A ハンドルが開栓していない。 B セラミック上部のゴミかみ。 C 通水していない。
水が止まらない	A ハンドルが閉栓していない。 B セラミック上部のゴミかみ。
流量が少ない	A ハンドルが開栓していない。 B セラミック上部のゴミづまり。 C (一般用の場合) 逆止弁コアのゴミづまり。
ニップル部から水が漏れる	D ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。
ホース接手がはまらない	E 通水状態である。本体内部に圧力がかかっている。 ホース接手が適合しない。(SAN-EIの給水ホースを別途お求めください。)



V96LT

一般用

- なべ小ねじ
- ハンドル部
- セラミック上部
- 逆止弁コア
- なべ小ねじ
- 本体
- バインド小ねじ
- オーリング
- 取付台
- 固定枠
- なべ小ねじ
- はさみプレート
- なべ小ねじ
- 下枠
- 化粧プレート
- 木ねじ
- ツバ
- キャップ

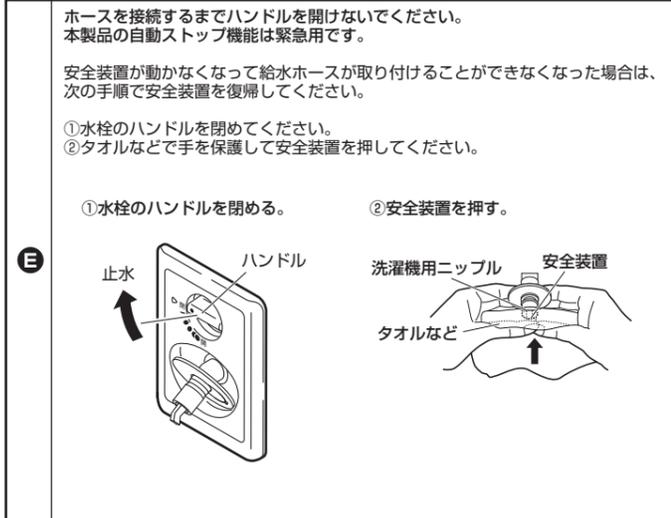
V96LT-1

- 取付台

V96LT-3

- 取付台
- 割リング
- 袋ナット

●V96LTK・V96LTK-1・V96LTK-3は No.4（逆止弁コア）を使用していません。



以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合は施工上の不具合が考えられます。「器具の取付け・8 施工・作動点検」を参照してください。

水道用コンセント シンプルット

.....V96LT・V96LT-1・V96LT-3
 (寒冷地用.....V96LTK・V96LTK-1・V96LTK-3)

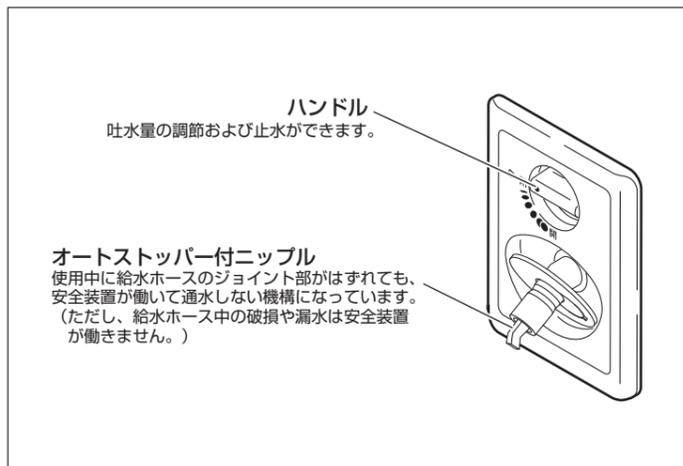
取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

水道用コンセントについて

- 壁面に埋め込むことで、突出感がなくスッキリ。水栓本体の機能はそのままです。
- ホースが接続していないと通水しない安全設計。
- ワンタッチ接続で簡単着脱。
- バルブ部にセラミック上部を使用しているため耐久性にすぐれています。

各部の名称



安全上のご注意

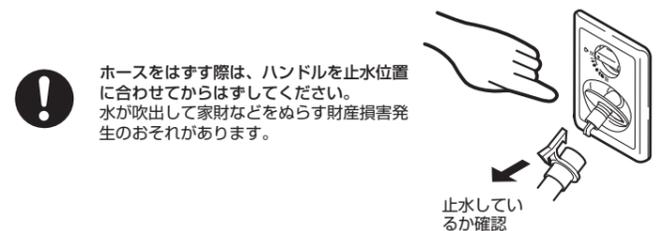
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- !** 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
- ⊘** 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- !** 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

〈使用上の注意事項〉

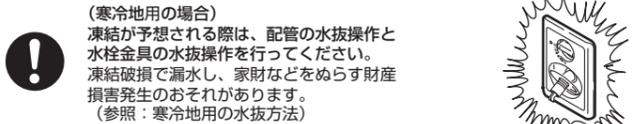
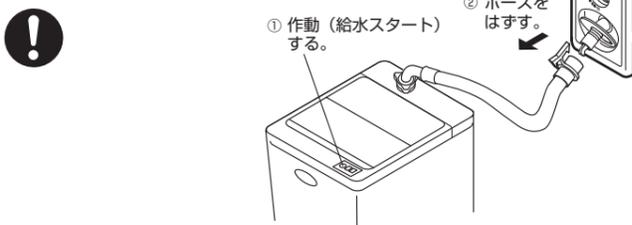
! 注意



止水しているか確認

! 注意

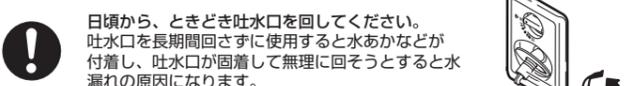
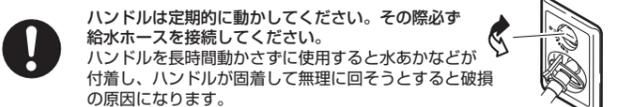
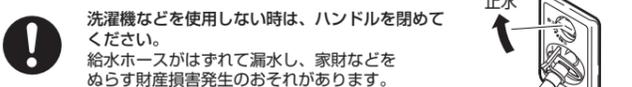
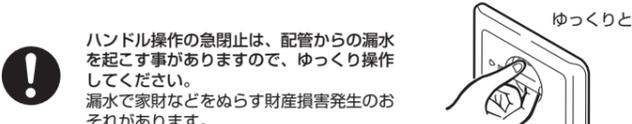
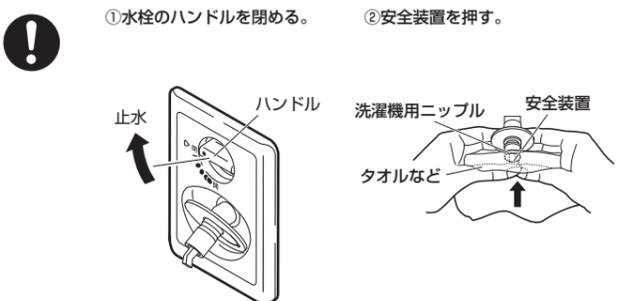
ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので注意してください。特にホース内に圧力がかかっている場合は水が吹出すおそれがあります。洗濯機などに取付けている場合は、一旦、作動（給水スタート）して、ホース内の圧力を逃がしてから、ホースをはずしてください。



ホースを接続するまでハンドルを開けないでください。本製品の自動ストップ機能は緊急用です。

安全装置が動かなくなって給水ホースが取り付けができなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。

- ①水栓のハンドルを閉めてください。
- ②タオルなどで手を保護して安全装置を押してください。



漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

ご使用について

洗濯機給水ホースの適合について

- ① 自動洗濯機でご使用の場合
日本電機工業会規格 (JEM1206) に適合するホース接手をご使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。

自動洗濯機給水ホース
 SAN-EI品番：PT17-1-0.5 (長さ0.5M)
 PT17-1-1 (長さ1M)
 PT17-1-1.5 (長さ1.5M)
 PT17-1-2 (長さ2M)
 PT17-1-3 (長さ3M)
 PT17-1-5 (長さ5M)



- ② 2槽式でホース接手のない場合
PT17-4Fをご使用ください。ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。

ホースナット付ジョイント
 SAN-EI品番：PT17-4F



お使いの給水ホース

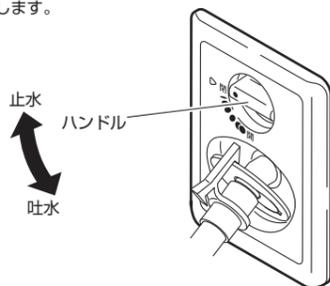
適合ホース：
 内径φ12~15mm
 外径φ18~20mm

! 注意

自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用方法

ハンドルをまわして、吐水、止水します。



ホース着脱方法

ホースの接続

- ①ホース接手を本体のニップルヘカチッと音がするまで差し込む。

抜け防止ジョイント

ホース接手

ニップル

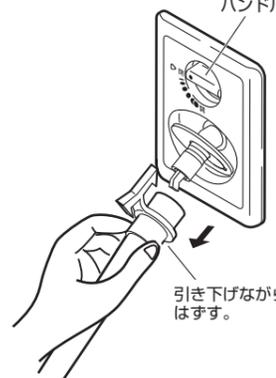
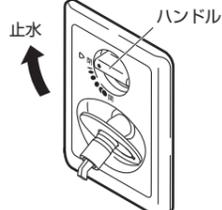
引き下げながら差し込む。

- ②接続後、ホースを引張って抜けない事を確認する。

ホースの離脱

- ①ハンドルを止水位置に合わせる。

- ②ホース接手をはずす。



! 注意

ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので、注意してください。

寒冷地用の水抜方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜栓を操作する。
- 2 ハンドルを吐水位置に合わせる。
- 3 洗濯機の電源を入れて、給水ホースを振って水を抜く。



! 注意

ホースがたるんでいると、ホース内に水がたまり、凍結のおそれがあるためご注意ください。

お手入れ

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

! 注意

- 次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
 - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわしなど



- 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

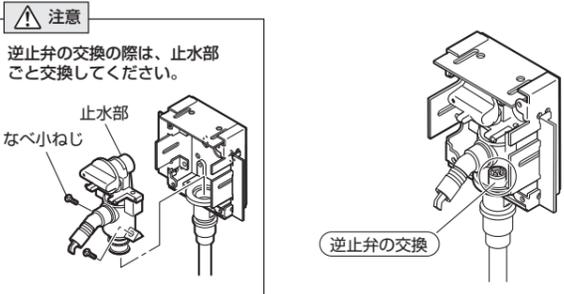


定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をおすすめします。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年
 万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

注意
 逆止弁の交換の際は、止水部ごと交換してください。



※寒冷地用に逆止弁はありません。
 ※交換時期は、使用環境などに異なります。
 ※逆止弁や部品交換を依頼される方は「保証とアフターサービス」を参照してください。

保証とアフターサービス

- 【保証について】
- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
 - 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
 - 保証期間を過ぎても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】
 水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考慮、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

お客様による日常のお手入れ・点検

買替えご検討

摩耗劣化部品の交換

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
 摩耗劣化部品の例
 ハルブ開閉ユニット・逆止弁(逆流防止弁)・ハンドル(レバー)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

【補修用性能部品の供給期間】
 この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に代替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

- 【修理の依頼と部品交換の依頼について】
- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
 - 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日
 - 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
 - 「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
 - 「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
 - 「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】
 ●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

故障?その前に

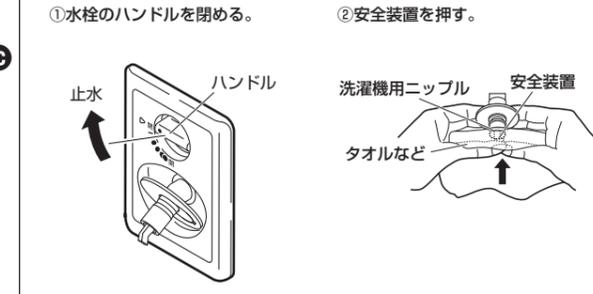
修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

	原因	処置
水が出ない	ハンドルが開栓していない。	A
	通水していない。	
水が止まらない	ハンドルが開栓していない。	A
	ホース接手のパッキン部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換する。	B
流量が少ない	ハンドルが開栓していない。	A
	パッキン	B
ニップル部から水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。	B
	ホース接手がはまらない	C
ホース接手がはまらない	通水状態や本体内部に圧力がかかっている。	C
	ホース接手が適合しない。(SAN-EIの給水ホースを別途お求めください。)	

ホースを接続するまでハンドルを開けないでください。本製品の自動ストップ機能は緊急用です。

安全装置が動かなくなって給水ホースが取り付けることができなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。

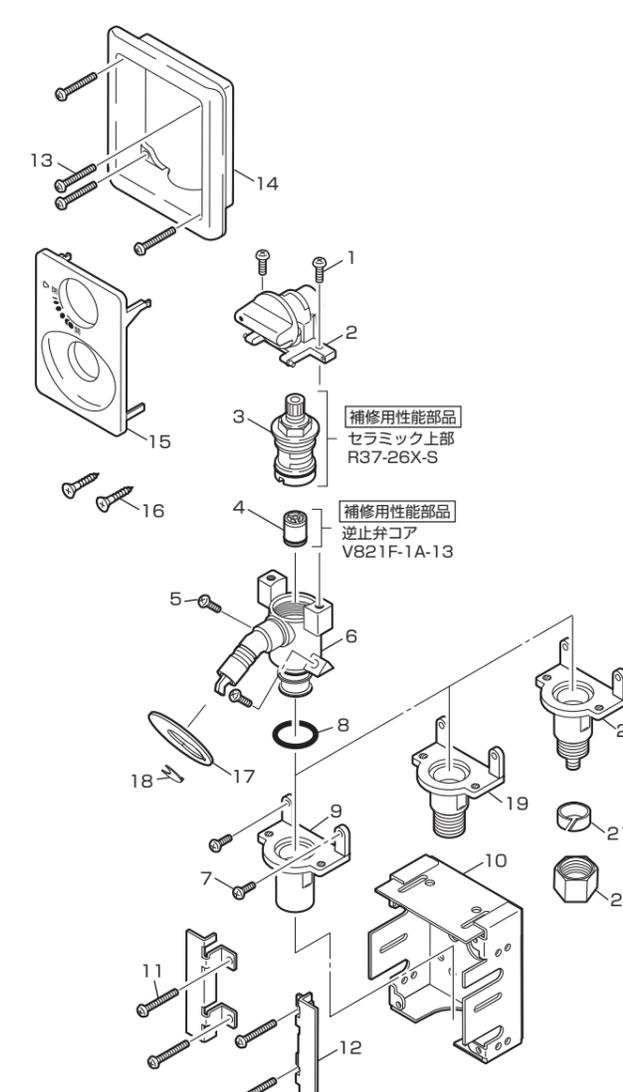
- ①水栓のハンドルを閉めてください。
- ②タオルなどで手を保護して安全装置を押してください。



以上の点検を実施されても、不具合がなくなるらない場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



補修用性能部品
セラミック上部 R37-26X-S

補修用性能部品
逆止弁コア V821F-1A-13

V96LT

一般用
1. なべ小ねじ
2. ハンドル部
3. セラミック上部
4. 逆止弁コア
5. なべ小ねじ
6. 本体
7. バインド小ねじ
8. オーリング
9. 取付台
10. 固定棒
11. なべ小ねじ
12. はさみプレート
13. なべ小ねじ
14. 下枠
15. 化粧プレート
16. 木ねじ
17. ツバ
18. キャップ

V96LT-1

19. 取付台

V96LT-3

20. 取付台
21. 割リング
22. 袋ナット

●V96LTK・V96LTK-1・V96LTK-3はNo.4(逆止弁コア)を使用していません。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	
	本体	2年	
お買上げ日(お取付け日)	年	月	日
お客様	お名前	様	
	ご住所		
販売店 工事店	店名	住所	
	電話		

見本

- ＜無料修理規定＞
 ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。
1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
 2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1)使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2)温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3)お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5)電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6)消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7)施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10)ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - (1)砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (2)寒冷地仕様で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (3)本書の提示がない場合
 - (4)本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- ★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
 ★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661
 東京 ☎(03)3683-7496

フリーダイヤル ☎0120-06-9721

- 東京支店 …… ☎(03)3683-7471
- 名古屋支店 …… ☎(052)800-8688
- 大阪支店 …… ☎(06)6972-6981
- 札幌営業所 …… ☎(011)782-5353
- 盛岡営業所 …… ☎(019)605-7301
- 仙台営業所 …… ☎(022)258-6251
- 郡山営業所 …… ☎(024)931-1377
- 新潟営業所 …… ☎(025)281-1291
- 東京西営業所 …… ☎(042)582-7141
- さいたま営業所 …… ☎(048)625-4741
- 横浜営業所 …… ☎(045)929-0331
- 静岡営業所 …… ☎(054)236-1115
- 金沢営業所 …… ☎(076)268-7751
- 京都営業所 …… ☎(075)605-5761
- 神戸営業所 …… ☎(078)843-9231
- 広島営業所 …… ☎(082)922-3631
- 松山営業所 …… ☎(089)905-7866
- 福岡営業所 …… ☎(092)674-1230
- 熊本営業所 …… ☎(096)385-7161
- 沖縄営業所 …… ☎(098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>